

# **令和7年度 内灘町総合教育会議**

## **協議事項 2**

# **内灘町の不登校児童生徒の 現状について**

**令和7年11月20日(木)**

# 1 「COCOLOプラン」の概要

## 文部科学省(令和5年3月)

# COCOLOプラン (文科省：令和5年3月)

1. 不登校児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える
2. 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する
3. 学校の風土の「見える化」を通して、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする

**誰一人取り残されない学びの保障に向けた  
不登校対策の実現**

# COCOLOプラン (文科省：令和5年3月)

## 1. 不登校児童生徒全ての学びの場を確保し、 学びたいと思った時に学べる環境を整える

➤ 不登校特例校の設置促進

➤ **校内教育支援センター(スペシャルサポ  
ートルーム等)の設置促進**

一人一人の特性や能力、興味や関心に応じた柔軟な学習ができるようにする校内の支援室

➤ **教育支援センターの機能強化**

➤ **多様な学びの場、居場所の確保** 等

# COCOLOプラン (文科省：令和5年3月)

## 2.心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する

- 一人一台端末を活用した心や体調の変化の早期発見
- 「チーム学校」による早期支援を推進
- 一人で悩みを抱え込まないよう保護者を支援

# COCOLOプラン (文科省：令和5年3月)

## 3. 学校の風土の「見える化」を通して、 学校を「みんなが安心して学べる」 場所にする

- 児童生徒の授業への満足度や教職員への信頼感、学校生活への安心感等の学校の風土や雰囲気把握し、学校運営を改善
- **子供たちの特性に合った柔軟な学びを実現**
- いじめ等の問題行動に対し、教育的配慮の下、毅然とした対応を徹底
- 児童生徒が主体的に参加した校則等の見直し

## **2 内灘町の不登校児童生徒の現状**

## 内灘町不登校児童生徒数の推移（不登校による欠席日数が年間30日以上）

- ・ 令和に入ってから、小学校で不登校児童が急増
- ・ 中学校も増加

## 内灘町立小中学校学年別不登校児童生徒数

- ・ 小学校では学年を追うごとに不登校児童が増加
- ・ 小学校低学年から不登校…保護者の不安と負担
- ・ 中学校入学後に急増
- ・ 中学校ではR6年度より別室登校専任教員が加配  
→不登校生徒数減少

## 不登校児童生徒の推移（不登校による欠席日数が月に3日以上）

- ・ 小学校も中学校も、1学期に不登校が増加
- ・ 9月(夏休み明け)にも新規の不登校が増加
- ・ 早期の相談や支援が重要

## 内灘町立小中学校での別室等利用児童生徒数

- ・ 小学校では、おもに相談室や保健室、図書室等を利用している。専任教員はいないため、養護教諭や支援員、管理職、司書等が対応。
- ・ 中学校ではR6年度より別室登校専任教員が加配され、安全・安心な環境のもとで落ち着いて学習に取り組むことができるようになった。

## 内灘町教育支援センター「ステップ」通室生の推移

- ・ 不登校児童生徒数の増加に伴い、通室生も増加傾向
- ・ おもに中学生の利用が多い
- ・ 中学校卒業後は、ほぼ進学(全日制、定時制、通信制等)← 学習保障の重要性
- ・ 所長 1 名、専門員 1 名 (いずれも会計年度任用職員)  
公認心理師 2 名(非常勤)

## 学校内外での専門的な相談・指導等を受けている状況

※学校内（スクールカウンセラー、養護教諭等）  
学校外（教育センター、医療福祉機関、民間フリースクール等）

- ・ 専門的な相談・指導を受けていない児童生徒が増加＝担任の負担が大きい
- ・ 組織的な対応が必要…「チーム学校」

## 内灘町教育センターでの相談件数の推移

- ・ 相談件数はR 4 年度以降大きく増加
- ・ 特に小学校の相談件数が近年増加
- ・ 学業や精神的不安等に関する相談も多い→不登校予備軍の可能性

# 保護者への家庭教育の啓発



- 県教委が「不登校児童生徒の保護者のための支援ガイド」等の資料を作成。保護者に周知し、わかりやすく支援や啓発を行う。
- 就学時健診の際に、県教委の資料「肝心かなめの1年生」をもとに保護者に説明し啓発を行う。
- 5歳児健診時に生活リズムや食事について保健師が説明をする。